
クリスマスのお話《受験生》

由宇

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

クリスマスのお話《受験生》

【Nコード】

N1771B

【作者名】

由宇

【あらすじ】

俊は受験生。中学三年生でならつゝ、相似問題に苦戦中

12月24日――

この町は、あまり雪がふらない。

かといって、クリスマス気分が薄れるわけでもなく、相も変わらずケーキヤさんには人々の行列が、うねる蛇のようにいくつもできていた。

「受験生にクリスマスもクソもねえよ、くるしんです、だよ！」
そんなクリスマスの中、外にはでず、家に籠もっている少年が1人――

いや、正確にいえば全国に数えきれないくらいにいるのだが、今回はこの少年、俊に絞ってみよう。

俊は狭い机に教科書をたくさん広げ、さらには両手にも教科書を持ち、ある1問をにらんでいた。

「は、これどうやっても相似になんねーだろ」

どうやら中学3年でならう、相似に苦戦しているようだ。

まさか、こんな積み木と同じ形の三角にこれからの人生が左右されようとは……

「あーいやだ、勉強したくねえー。家中掃除してたほうがましだあ！」

俊は手にもっていた2冊の教科書を、ひょいっと近くのベッドに放り投げた。

教科書が、俊からみて反対になり、ベッドにのっかった。

はあ、とため息をつき、寝ようかとベッドに目をやる。

「――ん！」

ふと、俊はあることに気付いた。

反対になった、ベッドの上の教科書をにらむ。

今までとは違う、三角の向き。

それは、まさしく俊がもとめていた、《答え》だった。

「そうか！ こっちの辺は、反対側の辺と相似なんだ！」

俊はさっそく教科書をつかみとり、シャーペンを手にもち、教科書の上を走らせる。

ケーキはいくつも売り切れ、レジの中にはどんどんお金が積もってゆく。そうまるで、止むことを知らない雪のように――

これは、ある一つのクリスマスの物語。

みなさんのクリスマスが、よい1日ですように。

受験生の皆さん、頑張ってください！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1771b/>

クリスマスのお話《受験生》

2010年11月2日14時51分発行